

穴埋め問題（問題）

第3章 安全衛生

1. 機械操作の注意点

① 乗用トラクタ

- ・ トラクタの（ ）から乗り降りします。
- ・ （ ）を立てて作業します。
- ・ トラクターの走行中は、左右の（ ）を連結します。
- ・ 作業後、トラクタに装着した作業機は、洗浄後取り外すか（ ）におろしておきます。
- ・ 公道を走る場合は（ ）が必要です。 = 【P50】 =

2. 農薬散布

① 服装

農薬散布は、（ ）に薬剤がかからないよう、適切な服装でします。帽子、長袖・長ズボンの（ ）、ゴム長靴、農業用（ ）、保護メガネ、ゴム手袋を着用します。（ ）はぬれるので使用してはいけません。

防除衣の上着のそでは手袋の上に（ ）、ズボンの裾は長ぐつの上にかぶせます。 = 【P52】 =

3. 燃料油を扱うときの注意

- ・ ガソリン、軽油など燃料油の（ ）を確認し、（ ）に合った燃料油を使います。機械に合わない燃料油を使うと、（ ）や事故の原因になります。
- ・ 給油は、必ず（ ）します。
- ・ 給油中、周囲に（ ）がないことを確認します。とくに（ ）は火がつきやすいので注意します。
- ・ 給油のときは、燃料油がこぼれたり（ ）からあふれないように注意します。 = 【P57】 =

4. 脚立の安全な使い方

使う前に、ヒビや折れ・（ ）などないか点検します。

脚立は、安定のよい置き方をするよう注意します。

（ ）（チェーンや留め金）はきちんとかけます。

（ ）に乗ったりまたがったりせず、（ ）に立って作業します。脚立は前後の動きに対しては（ ）がありますが、（ ）方向の動きに対しては不安定です。左右の枝を切るときなど、身体を（ ）姿勢で作業を行うと危険です。

= 【P59】 =

穴埋め問題（問題）

第4章 稲作作業

1. 分けつ開始期

分けつとは、（ ）（稈）が増えることです。通常分けつは移植後（ ）くらいで始まり、その後（ ）週間くらい続きます。1本の苗の茎（稈）が、（ ）本ほどになると分けつは止まります。＝【P60】＝

2. 育苗

（ ）による移植栽培のための（ ）を育苗と言います。育苗は縦60 c m、横30 c m、厚さ3 c mの（ ）に肥料の入った土（ ）を入れ、（ ）後に種まきをし、覆土します。覆土後は、育苗器内かビニールハウス（温室）で保温資材により被覆し、（ ）させます。出芽後はビニールハウス（温室）に並べ、苗が（ ）になるまで被覆します。

ビニールハウス内の（ ）に注意しながら灌水し、育苗期間20日～25日で（ ）と呼ばれる苗が、30日～35日で（ ）と呼ばれる苗ができます。＝【P62】＝

3. 収穫

栄養成長期から（ ）成長期に入ると（ ）が分化します。
穂を分化する時期を（ ）分化期といいます。

幼穂の分化から30日程度で穂がでます。これを（ ）といいます。
出穂から（ ）ほどで収穫時期になります。

収穫はほとんどの地域では（ ）でします。コンバインとは「刈取機と（ ）が一つになった機械」です。日本では一般に（ ）コンバインが使われています。

= 【P65】 =

穴埋め問題（問題）

第5章 畑作・野菜作業

1. 栽培作物の特徴

① イモ類

イモ類とは、地下部にある（ ）や根が（ ）して炭水化物の（ ）部となった作物です。

ジャガイモやサツマイモなどがあります。いずれも（ ）に弱い特徴があります。 = 【P70】 =

② レタス

葉が（ ）のように巻くもの、巻かないもの、葉が縮れているものなど、いろいろな種類があります。

（ ）気候でよく育ちます。

（ ）栽培をします。

種子は（ ）性です。（ ）に弱い性質があります。

高温で花芽分化します。 = 【P74】 =

③ トマト

種類が多く、糖度の高いミニトマトも人気があります。（ ）の品種もあります。移植栽培をします。（ ）を利用すると（ ）が増し収穫量が増えます。わき芽が多数出るため、わき芽を小さいうちに摘み取る「（ ）」をします。

= 【P75】 =

4. 光の強さと光合成

作物は光合成をして（ ）を合成し育ちます。

一般に、光が（ ）ほど光合成がさかんになります。一定の強さを超えると頭打ちになる（ ）があります。

作物によって必要な光の強さは違います。

強い光が必要な野菜は、トマト、（ ）、トウモロコシ、（ ）などです。

弱い光で育つのは、（ ）、ミョウガなどです。

= 【P78】 =